



本日のプログラム

- ◆ロータリーソング『四つのテスト』
- ◆卓話 第2610地区石川第4分区ガバナー補佐
谷口永一郎氏(珠洲RC)

第2581回例会(9月20日)報告

司会 山上信次郎 S A A 副委員長

- ◆開会点鐘 松岡恵水副会長
- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆ゲスト及びビジター紹介 松岡恵水副会長
 - ・米山奨学生 アル肯 毛拉克君(中国)
 - ・米山カウンセラー 田中庄治様(能美RC)
- ◆皆出席表彰 山瀬秋雄出席・ニコニコBOX委員
 - ・13年間 大西哲雄会員
 - ・6年間 八井貴啓会員
 - ・5年間 保下信一会員



◆会長の時間 松岡恵水副会長

今日は「優しさの原点を尋ねて」というテーマでお話しします。

お釈迦様が皇太子時代、王族の間で王位継承をめぐって争いが絶えませんでした。王城の外で命の真実・実体を見て出家を決意されたのですが、本当の心の安寧を求めてのことだと思います。後にブッダ(目覚めた人)となられ安心について説かれ、民に和らぎ心を授けられました。後に中国の帝が命じ玄奘三蔵法師を遣わせ天竺より仏典を届け、それを訳したのが国内で奪い合うほどの逸材の鳩摩羅什です。

後に、それが朝鮮半島に伝わり、それを耳にした聖徳太子(574~622)が百済の清明王から仏典と仏像を送られ、国の基となる憲法に活かしたのです。638年と644年の二説がありますが、要するに仏国土を現出したかったのです。そして、争いや殺し合いの無い世界を造りたかったのです。

藤原三代もそうなのですね。中尊寺の金色堂、あれはお浄土なのです。毛越寺のお庭、あれもお浄土の池なんです。大無量寿経に「国豊民安、兵戈無用」とあります。平和な国を造るには武器はいらないの意です。

輪島とよく似た環境の山口県の仙崎出身の金子みすずさんの詩に「大漁だ大漁だ大羽イワシの大漁だ、浜は祭のようにわいている、しかし海の中では仲間の弔いするだろう」この詩の底辺には、命尊しとする深い大慈大悲の御仏の心が流れているのです。

◆委員会報告

◎社会奉仕委員会

八井貴啓委員長

高齢者施設慰問のお知らせ。9月23日(金)午前11時より百寿苑、26日(月)午後3時よりあての木園の慰問を行い、新米30kgを贈呈したいと思います。会員の皆様の同行をお願い致します。

◎国際奉仕委員会

久岡政治委員長

12月に予定しておりました台湾吉安RC訪問は諸般の事情により中止となりました。

◆出席報告

山瀬秋雄出席・ニコニコBOX委員

9月20日の暫定出席率: 66.67%

(出席20名、欠席10名)

9月6日の確定出席率: 83.33%

(出席25名、欠席5名、メーク0名)

◆ニコニコBOX報告

山瀬秋雄委員

・本日は米山奨学生アリケン君のカウンセラーとして同伴させて頂きました。宜しくお願い申し上げます。

能美RC 田中庄治カウンセラー

・皆出席表彰ありがとうございました。大西哲雄会員・皆勤賞頂きました。6年間ありがとうございます。

八井貴啓会員

◆卓話者紹介

能美RC 田中庄治会員

名前: アル肯 毛拉克(アリケン・モラク)君 38歳

出身: 中国(新疆ウイグル自治区)

所属: 金沢大学大学院医薬保険学総合研究科

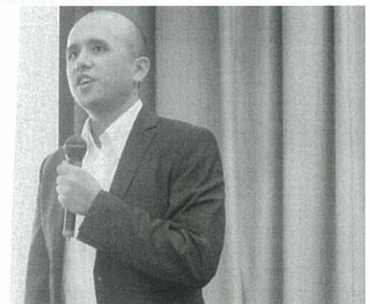
国際がん治療学 4年

◆卓話 米山奨学生 アル肯 毛拉克君

テーマ「私がステキだと思う日本文化」

日本に来た留学生は、日本はキレイ、食事がおいしいと言います。私は日本の文化がステキだと言います。私はウイグル族で昔東西の交易で栄えたシルクロードの中継地、新疆ウイグル自治区から来ました。仏教からイスラム教への変化が女子教育の否定や、紙造りの技術を伝承する文化が減りつつあります。

昔、日本は、多くの留学生が中国に渡り、宗教、文化、技術を持ち帰り、独自の日本文化に発展させた。そして日本文化の特徴を示す概念として「和魂漢才」と言える日本独自の精神と文化を確立していった。



◆閉会点鐘

松岡恵水副会長

【編集: 徳野喜一郎会員】